

教育研究業績

学部：芸術学部

学科：芸術学科

領域：音楽領域

氏名	金子敦子	職名	教授
教育活動	<p>【学部】西洋音楽史概論, 西洋音楽史各論, 民族音楽研究, 日本音楽研究, 音楽教育Ⅳ (卒業論文), 音楽科指導法 3, 音楽科指導法 4, 音楽と教育, 音楽学特論, 音楽史特論, 音楽の世界</p> <p>【大学院】音楽学特論 1</p>		
学位	<p>芸術学士 (国立音楽大学)</p> <p>文学修士 (お茶の水女子大学)</p> <p>博士 (芸術文化学) (大阪芸術大学)</p>		
学歴	<p>昭和 53 年 3 月 国立音楽大学音楽学部楽理科卒業</p> <p>昭和 53 年 4 月 お茶の水女子大学大学院修士課程 人文科学研究科音楽学専攻入学</p> <p>昭和 55 年 2 月—昭和 56 年 4 月 オーストリア (インスブルック大学)、スイス (チューリッヒ大学) で音楽学の研修</p> <p>昭和 57 年 3 月 お茶の水女子大学大学院修士課程 人文科学研究科音楽学専攻修了</p>		
職歴	<p>昭和 57 年 4 月 お茶の水女子大学文教育学部音楽科教務補佐 (平成 2 年 3 月まで)</p> <p>昭和 62 年 7 月 放送大学非常勤講師 (平成 7 年 3 月まで)</p> <p>平成 2 年 4 月 名古屋芸術大学専任講師 (平成 8 年 3 月まで)</p> <p>平成 4 年 4 月 明治学院大学非常勤講師 (平成 8 年 3 月まで)</p> <p>平成 8 年 4 月 名古屋芸術大学 助教授 (平成 19 年 3 月まで)</p> <p>平成 12 年 4 月 愛知県立芸術大学非常勤講師 (平成 15 年 3 月まで)</p> <p>平成 14 年 11 月 岐阜県立看護大学非常勤講師 (現在に至る)</p> <p>平成 15 年 5 月 放送大学非常勤講師 (平成 16 年 3 月まで)</p> <p>平成 19 年 4 月 名古屋芸術大学音楽学部音楽文化創造学科教授 (平成 29 年 3 月まで)</p> <p>平成 29 年 4 月 名古屋芸術大学芸術学部教授 (現在に至る)</p>		
専門分野	音楽学 (特に、民族音楽学)		
研究課題	<p>日本の音楽文化 (日本近代における楽器研究、唱歌研究、日本民謡の研究など)。</p> <p>特に近年は、国産繭 (小石丸、白繭種など) を中心に、国産繭からとった絹箏弦の研究と普及に従事している。</p>		

教育研究業績

〔著書、論文、学会発表〕

- ・『日本大正村蔵音楽器総図録』（共著）名古屋芸術大学音楽総合研究所 平成 22 年 3 月
- ・日本音楽学会中部支部 第 100 回例会
シンポジウム「楽器の伝播とグローバリゼーション—大正琴の場合」於：名古屋芸術大学音楽学部（平成 22 年 11 月）
- ・WEB 動画資料「大正琴の製造過程と技」（監修）
Web サイト：<http://www.kyokyou.ac.jp/ongaku/tanaka/kaken/Taishogoto.html>
科研 —基礎研究 C 平成 20-22 年度に関わる研究（テーマ：楽器におけるわざ学の伝承とグローバリゼーション）（単著）（平成 23 年 1 月）
- ・「中学校鑑賞教材 選択の観点と教材研究(《春》「和声と創意の試み」第 1 集「四季」から、諸民族の音楽—声の音楽—、諸民族の舞踊音楽)」(単著)『最新中等科音楽教育法』中等科音楽教育研究会(編)音楽之友社(平成 23 年 2 月)
- ・『邦楽器弦の特性解明及びシルク弦の開発』(平成 21・22 年度 貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成 報告書)共同研究(代表 徳丸吉彦) 研究主催者:大日本蚕糸会(平成 23 年 3 月)
- ・『大正琴資料図録 —博物館・資料館等の所蔵品による』(単著)(社)大正琴協会(名古屋)(平成 23 年 8 月)
- ・「国産蚕品種による絹箏弦の開発 —繭品種による絹弦の物理的特性」(共著)『日本シルク学会誌』vol.20(平成 24 年 3 月)
- ・「交響組曲《シェエラザード》(リムスキー=コルサコフ)、コラール〈カンタータ 147 番から〉(バッハ)」(単著)『音楽鑑賞教育』季刊 Vol.9(通巻 513 号)公益財団法人 音楽鑑賞振興財団(平成 24 年 4 月)
- ・日本音楽学会 平成 24 年支部横断企画 シンポジウム 会場：静岡文化芸術大学「バンバン!ケンバン♪はままつ -キーボードと出会うコンサートとフォーラム 講演・シンポジウム-」「大正琴の文化史-アジアにおける大正琴の文化と変容-」(パネリスト)(平成 24 年 10 月)
- ・『絹箏弦のインターフェイス研究』(報告書)(平成 24 年度 貞明皇后蚕糸記念科学技術研究助成)(共著)大日本蚕糸会(平成 25 年 3 月)
- ・『国産絹箏弦による演奏会と体験会 報告書』(財)大日本蚕糸会蚕糸絹文化叢書 vol.18(平成 26 年 3 月)
- ・「大正琴—誕生から今日まで 100 年の歴史—」(単著)『浜松市楽器博物館総合案内図録 2015』浜松市楽器博物館(編)浜松市発行(平成 27 年 3 月)
- ・「一絃の琴・二絃の琴(解説書付き DVD)」(共著)名古屋芸術大学音楽総合研究所(平成 27 年 3 月)
- ・第 62 回日本シルク学会大会発表 「国産蚕品種による絹箏弦の開発 -絹弦の普及-」於：岡谷商工会議所 3 階大会議室(平成 27 年 5 月)
- ・『第二回国産絹箏弦を聴く会』報告書(DVD 付き)(共著) 国産絹箏弦普及の会：大日本蚕糸会(平成 28 年 3 月)
- ・日本音楽学会日本音楽学会中部支部第 117 回例会 研究報告：DVD「一絃の琴 二絃の琴」の紹介 於：名古屋芸術大学東キャンパス(平成 28 年 7 月)
- ・「根室女工節をたずねて」(単著)『釧路新聞』(平成 29 年 9 月)

	<ul style="list-style-type: none"> ・「大正琴の部活による音楽文化の継承—岩手県住田町立世田米中学校の取り組み—」 (単著)「音楽教育実践ジャーナル」Vol.15(平成29年12月) ・「明治・大正時代の日本の養蚕・蚕糸業と「養蚕唱歌」」(単著)『日本シルク学会誌』 Vol.26(平成30年3月) ・「日本民謡の伝承と学校教育」(単著)『名古屋芸術大学教職センター紀要』第7号 (平成30年3月) ・「山田耕筰作曲《蚕糸の歌》—絹の普及を託された歌—」(単著)『日本シルク学会 誌』Vol.27(平成31年3月) ・「中学校鑑賞教材 選択の観点と教材研究(諸民族の音楽—声の音楽—、諸民族の音楽 —舞踊の音楽)」(単著)『最新中等科音楽教育法 2017/18年告示「中学校・高等学 校学校指導要領」準拠』中等科音楽教育研究会(編)音楽之友社(平成31年3月) <p>〔講演〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大正琴の歴史と現在」名古屋木鶏クラブ・セミナー(平成21年8月29日) <p>〔講習会、演奏会、企画展の開催〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「第1回国産絹箏弦による演奏会と体験会」 於：紀尾井ホール 主催:国産絹箏弦普及の会(平成26年1月) ・「第1回絹の箏糸弦を締める講習会」 於：蚕糸科学研究所 主催:国産絹箏弦普及の会(平成27年2月) ・「第2回国産絹箏弦による演奏会と体験会」 於：紀尾井ホール 主催:国産絹箏弦普及の会(平成27年12月) ・「第2回絹の箏糸弦を締める講習会」 於:名古屋芸術大学 主催:国産絹箏弦普及の会(平成29年1月) ・「第3回絹の箏糸弦を締める講習会」 於:北九州市小倉 主催:国産絹箏弦普及の会(平成30年1月)
<p>所属学会 団体等</p>	<p>日本音楽学会,東洋音楽学会,日本音楽教育学,民族芸術学会,日本シルク学会</p>
<p>社会的活動</p>	<p>日本音楽学会中部支部 委員(平成17年4月～21年3月) 同上 支部長(平成23年4月～25年3月) 同上 委員(平成25年4月～27年3月) 同上 幹事(平成27年4月～31年3月) 同上 委員(令和元年4月～現在に至る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国子供大正琴コンクール 審査員(平成18年より現在に至る) ・オカリナ ギネス世界記録挑戦 証人 於：名古屋栄「オアシス21」(平成21年4月) ・第5回旭声会民謡発表会「根室女工節の伝承」 於:根室市総合文化会館大ホール 主催：根室民謡協会旭声会 特別出演(平成30年4月) ・大正琴普及事業(北海道) 於：根室市老人福祉センター(平成31年3月)
<p>その他</p>	<p>貞明皇后記念 蚕糸科学賞受賞(財団法人 大日本蚕糸会) 平成25年11月</p>

